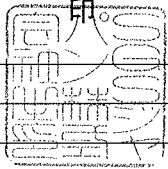


環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成25年2月1日

検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

| | | |
|--|--|---|
| 対象プロジェクト名 | | |
| 大阪府株式会社村上電子工学におけるボイラー装置の更新・燃料転換と照明設備の導入技術による温室効果ガス削減事業 | | |
| GHG 検証機関 | | |
| 当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。 | | |
| 機関名 | SGS ジャパン株式会社 |  |
| 担当部署名 | 認証サービス事業部 サステナビリティサービス部 | |
| 責任者名 | マネジャー 西 利道 | |
| 責任者 E-mail | Toshimichi.nishi@sgs.com | |
| 責任者電話番号 | 045-330-5021 | |
| 審査員名 ⁱ | 野原 浩樹(チームリーダー) 都倉 知宏(レビュー担当者) | |
| 機関要件への合致 | 妥当性確認・検証機関としての要件を満たし、妥当性確認・検証機関としての登録を受けている(E001~E031 分野) 暫定妥当性確認機関としての要件を満たし、暫定妥当性確認機関としての登録を受けている。(L001, L002, A001 分野) | |
| 検証結果 | | |
| 適用妥当性確認・検証ガイドライン | オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver.2.2 | |
| 事業者との契約日 | 2013年1月16日 | |
| モニタリング報告書受領日 ⁱⁱ | 2012年10月2日 | |
| 検証報告書発行日 | 2013年2月1日 | |
| 現地審査 | 期間 | 下記条件を満たすとし、妥当性確認時の現地審査と同時に検証の為の現地審査を行った。 |

| | | | | | | |
|--------------|-------|---|------|--|------|----|
| | | 審査内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ・検証対象のモニタリング対象期間終了日(2012年9月30日)は、本件妥当性確認実地審査日(2012年10月2日)より前に終了し、かつ実地審査の時点で初版のモニタリング報告書が提出されている。 ・妥当性確認の実地審査時点でのプロジェクト計画が、排出削減量に関する事項に関し、訂正されることなく委員会において登録されている。 ・妥当性確認開始日(2012年9月22日:文書審査)から検証実施(2013年1月)まで6か月以内である。 ・妥当性確認時に実地審査が行われている。 | | |
| 排出削減・ 吸収量 | 年度 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 合計 |
| | t-CO2 | | | 26.6 | 18.8 | 45 |
| 検証結果の要約 | | <p>SGS ジャパン株式会社は、「大阪府株式会社村上電子工学におけるボイラー装置の更新・燃料転換と照明設備の導入技術による温室効果ガス削減事業」を対象としたモニタリング期間(2011年9月1日~2012年9月30日)における、GHG 排出削減量を検証した。</p> <p>検証の結果、「オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス排出削減・プロジェクトモニタリング報告書 Ver.1.1、及びモニタリング報告書(別紙)Ver.1.1に記載された二酸化炭素排出削減量45 t-CO2は、「オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス排出削減プロジェクト計画書Ver.1.2」及び別紙モニタリング計画書Ver.1.2に基づいて算定されていることが確認された。</p> <p>また、検証の過程で誤りは適切に訂正されており、重要性の判断基準の5%未満であった。また、当該プロジェクトは、オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則、モニタリング方法ガイドライン(排出削減プロジェクト用)、排出削減方法論(E010,E011)に依拠して作成されており、全ての重要な点において適正であると認める。</p> | | | | |

ⁱ 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。

ⁱⁱ 検証機関がプロジェクト代表事業者等からモニタリング報告書を受領した日を記載すること（この日を以て当該検証の開始日とみなす）。